

Q&A

Q 1 新しい入試制度のどういうところが今までと違っていませんか？

A 1 今回の新しい入試では、今まで以上に受検生の能力・意欲を多面的に評価し、受検生と各高校のスクール・ポリシーとの適合を図れるように、複数の受検方式を設定しました。また、隣県公立高校や県内外の私立高校と入試時期を近づけました。
このことにより、受検生の皆さんは多様な選択肢から、自分の進路についてしっかりと考えたうえで入試に臨むことができます。受検生の皆さんには、この入試を通じて自分で自分のことを決めて、一歩を踏み出してほしいと思っています。
また、入試が終わったら、卒業式までの期間を、中学校の学習の総復習や高校での新たな学びに向けた準備をする時間として有効活用してください。

Q 2 学力検査の出題範囲はどうなるのですか？

A 2 入試の時期を考慮した範囲で出題します。



Q 3 方式②の「学びのデザイン方式」とはどのような受検方式ですか？

A 3 方式②で重視する力は、いわゆる学力だけでなく、自ら問いを立て、情報を整理し、考えを深めていく等の中学校までの諸活動で身につけてきた力を、高校での学びにどう活かしていくことができるかという「学びのデザイン力」です。
このような力を、作文やプレゼンテーションなどの形式で問います。



Q 4 方式②の自己表現とはどのような内容の検査ですか？

A 4 出題例と評価規準例を、後日、県教育委員会HPに掲載します。掲載するときには、中学校へお知らせします。

Q 5 同じ高校での方式の併願はできますか？

A 5 できません。
例えば方式③で不合格だった場合、方式①で合格となることはありませんので、しっかりと考えて出願してください。

Q 6 調査書はどのように変更されますか？

A 6 「出欠の記録」、「行動の記録」欄を削除します。

【お問合せはこちらから】



回答は県教育委員会HPに掲載します

**佐賀県教育委員会事務局
教育振興課**

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号
TEL: 0952-25-7476 FAX: 0952-25-7409
E-mail: kyouiku-shinkou@pref.saga.lg.jp

2028年（令和10年）4月に高校へ入学する生徒から

県立高校の入試が変わります



新しい入試制度の目的

- 受検生の能力・意欲を多面的に評価する
- 受検生と各高校のスクール・ポリシーとの適合を最大限図る

現行制度

令和9年4月入学生まで

特別選抜（2月上旬実施）

- スポーツ推進指定校
 - ✓競技実績に基づく募集枠
 - ✓学校希望に基づく募集枠
- 文化芸術推進指定校
- 特色ある教育課程推進指定校

一般選抜（3月上旬実施）

2つの異なる選考方法（選考Ⅰ・選考Ⅱ）による選抜

追検査

再募集

新制度

令和10年4月入学生から

前期選抜（2月上旬実施）

- 方式①【5教科方式】
 - ✓国数英理社の5教科の学力検査
- 方式②【3教科+学びのデザイン方式】※Q&A参照
 - ✓国数英の3教科の学力検査
 - ✓自己表現
- 方式③【3教科+実技検査方式】
 - ✓国数英の3教科の学力検査
 - ✓スポーツや文化芸術の実技検査

追検査（前期選抜で選択した方式で受検）

後期選抜（2月下旬実施）

- ✓作文、面接、調査書、前期選抜の学力検査（国数英）等

変更のポイント

- 各高校が方式①を含む複数の方式を選択します。受検生の皆さんは、その中から1つの方式を選んで受検することになります。
- 前期選抜の募集人員は、各高校の募集定員の80%～100%です。（各高校によって異なります。）
- 後期選抜の募集人員は、各高校の募集定員から前期選抜の合格者数及び併設型中学校からの入学内定者数（併設型中高一貫教育校のみ）を差し引いた数とします。ただし、前期選抜において定員すべてを募集した高校は、後期選抜を実施しません。

前期選抜 (全日制・定時制)

※自己表現の出題例や評価規準例については、後日、佐賀県教育委員会HPに掲載します。
※各高校が設定する募集人員、受検方式、選抜方法等については、高校別に一覧にしたものを、後日、佐賀県教育委員会HPに掲載します。

【実施時期】 2月上旬

【募集人員】 募集定員のうち80%~100%の人員を募集（割合は各高校によって異なります。）
※併設型中高一貫教育校については、募集定員から併設型中学校からの入学内定者数を差し引いた数を募集します。

【受検方式】

方式①【5教科方式】

- ・実施校……すべての高校
- ・募集人員……各高校で設定（募集定員の50%以上）
- ・選抜方法……次の(1)~(4)を総合的に評価し、選抜します。
 - (1)学力検査50分×5教科（国語、数学、英語、理科、社会）
 - (2)面接
 - (3)調査書
 - (4)実技検査（芸術科目を重視する学科において実施する場合があります）



方式②【3教科+学びのデザイン方式】

- ・実施校……採択した高校
- ・募集人員……各高校で設定（募集定員の30%以下）
- ・選抜方法……次の(1)~(3)を総合的に評価し、選抜します。
 - (1)学力検査50分×3教科（国語、数学、英語）
 - (2)自己表現（作文、口頭試問、プレゼンテーション、集団討論などから高校が指定）
 - (3)その他（調査書または実績報告書など必要に応じて高校が指定）

方式②は、中学校で取り組んだ活動や、希望の高校への熱い思いについて、自らの言葉で表現してもらって受検方式です。

方式③【3教科+実技検査方式】

- ・実施校……採択した高校
- ・募集人員……各高校で設定（募集定員の30%以下）
- ・選抜方法……次の(1)~(5)を総合的に評価し、選抜します。
 - (1)学力検査25分×3教科（国語、数学、英語）
 - (2)実技検査
 - (3)面接
 - (4)実績評価表
 - (5)調査書

【時間割イメージ】

1 日目				2 日目	
方式①		方式②		方式③	
9:00 ~ 9:50	国語	9:00 ~ 9:50	国語	9:00 ~ 9:25	国語
10:10 ~ 11:00	数学	10:10 ~ 11:00	数学	9:45 ~ 10:10	数学
11:20 ~ 12:10	英語	11:20 ~ 12:10	英語	10:30 ~ 10:55	英語
12:10 ~ 13:05	昼休み	12:10 ~ 13:05	昼休み	11:10 ~	実技検査・ 面接など
13:10 ~ 14:00	理科	13:10 ~	自己表現		
14:20 ~ 15:10	社会				
15:20 ~	面接				

☆どの方式も1日で実施します。

☆ただし、方式①において、実技検査を実施する場合は実技検査を2日目に実施します。

追検査

【実施時期】 2月中旬

【対象者】 本人の責に帰さないやむを得ない事情により前期選抜を受検できなかった者

【受検方式】 前期選抜で選択した方式で受検

ただし、学力検査については全方式50分で共通問題とします。

（方式①は5教科、方式②と方式③は国数英3教科）

後期選抜（全日制）

【実施時期】 2月下旬

【募集人員】 募集定員から前期選抜の合格者数を差し引いた数

ただし、前期選抜において定員すべてを募集した高校は、後期選抜を実施しません。

【応募資格】 前期選抜に出願し、合格しなかった者

【選抜方法】 作文、面接、調査書、前期選抜の学力検査（国数英3教科）等

後期選抜（定時制）

【実施時期】 3月上旬

【募集人員】 募集定員から前期選抜の合格者数を差し引いた数

【応募資格】 県立高校に合格していない者

【選抜方法】 作文、面接、調査書等

定時制の後期選抜は、前期選抜に出願していない人も、全日制の後期選抜に合格しなかった人も受検できます！



通信制

選抜については別に定めますが、基本的に従来どおりに行います。

選抜の流れ (予定)

